



国立音楽大学附属中学校 ガイド

1. 本校について

国立音楽大学附属中学校は戦後間もない 1949 年、日本で最初の音楽高校である国立音楽大学附属高等学校と共に文教地区国立の地に創立されました。これまで多くの卒業生や在校生が支えてきた歴史とともに「音中」や「国音、くにおん、KUNION」の愛称で親しまれています。2024 年度は創立 75 周年になります。

本校は高校で行われるより高度で専門的な学習へ進むための基礎的な力を身につける期間として位置付けられており、「演奏・創作コース」と「総合表現コース」どちらも、日々の学習習慣をつけ、基礎を定着させ応用力を身につけることに重点をおいた授業・行事設定をしています。生徒たちはコースが異なっても、授業・クラブ活動や生徒会活動、体育祭や芸術祭などの行事で関わり、お互いの成果を認め合い、良い刺激を受けながら切磋琢磨しています。

(1) 教育理念「自由」「自主」「自律」

創立当初から、芸術を創造する学校として、一人一人の個性を尊重しつつ、自由・自主・自律の教育理念のもと多くの生徒を育ててきました。

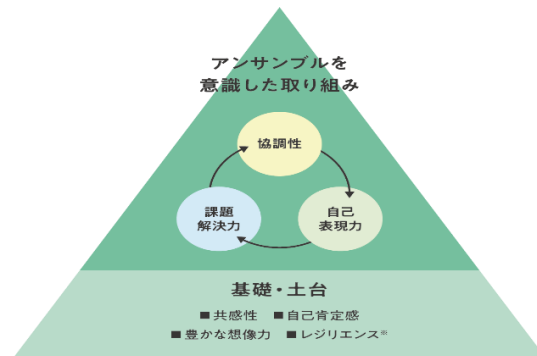
芸術を創造するには精神の自由が大切です。自分の自由を大切にしようとするならば、他の人の自由も尊重しなければなりません。ですから、「自分勝手なわがまま」とは違います。他者を思いやり、その上で自らの自由を大切にし、自主的に自分の考えをしっかりと持って行動できる自律した人間の育成を目指してきました。

そして今も変わることなくこの精神は受け継がれ、「自由・自主・自律」を教育理念として、あらゆる活動の中で生きています。生徒たちはそうした校風の中で他者を尊重し、自らを律し、自由の意味を考えながら、のびのびと大らかに学園生活を送っています。

(2) アンサンブルのくにたち

本校は「アンサンブルのくにたち」という評価をいただいています。アンサンブルにおいて必要とされる、協調性、課題解決力、適切な主張、コミュニケーション能力などは、社会人として自立し、活躍していくために、必要なスキルであるといえます。変化の著しいこれからの社会においても、人の心を動かせる豊かな感性を持ち、社会に貢献できるような人物を KUNION で育みたいと考えています。

音楽によって育まれた情緒面の豊かさや感性、自己肯定感や自尊心は人格形成の土台となります。この土台のもとに、KUNION ではアンサンブルを意識した指導を行っています。例えば「合唱」の授業が週 1 回あり、6 月にはクラス毎に披露する合唱コンクール、12 月には学年毎で発表する「くにたち音楽会」、3 月には全校生徒で 3 年生の創作した曲を合唱する「卒業演奏会」が開催されます。アンサンブルの中ではお互いの演奏を聴き、認め合い、意見を出し合うことで美しいハーモニーが生まれます。また、周囲に合わせるだけでなく、適切な自己主張をしなければ、自分達の音楽を創り出すことはできません。KUNION では、音楽学校として行われる音楽的指導だけでなく、授業やホームルームの中でのグループワークなどはもちろん、委員会、生徒会活動、行事、クラブ活動等の様々な活動の中で「アンサンブル」を意識し、人格形成に役立てています。



※レジリエンスとは、「回復力」「復元力」または「弾力性」とも訳され、ストレスのような外的な刺激に対する柔軟性を表す心理学用語です。心のしなやかさ・現実を受け入れ危機から立ち直る弾力性を表します。

2. 時程など

- ・ KUNION は 1 年間を前期と後期の 2 つに分けて学ぶ 2 期制の学校で、週 5 日制をとっています。(ただし行事の関係で土・日も登校することがあります。) 前期・後期それぞれに中間試験と期末試験があります。
- ・ 1 クラス 30 人程度で、1 学年 2 クラスです。2 つのコースが混合した編成になっています。
1 号館 3 階に 3 学年がいるので、学年を越えた交流があります。
- ・ 登校時間は午前 7 時 50 分から午前 8 時 40 分までの間となっています。早めに登校して自習をしたり楽器の練習をしたりすることができます。また、遠方から通っている生徒も多いので、最終下校は午後 5 時 15 分です。

第 1 時限	8:50 ~ 9:40
第 2 時限	9:50 ~ 10:40
第 3 時限	10:50 ~ 11:40
第 4 時限	11:50 ~ 12:40
昼休み	12:40 ~ 13:25
第 5 時限	13:25 ~ 14:15
第 6 時限	14:25 ~ 15:15
第 7 時限	15:25 ~ 16:15

3. カリキュラムと時間割

(1) カリキュラム

学年	国語	社会	数学	理科	音楽	合唱	美術※2	保健体育	技術	家庭	英語	道徳	H R	レッスン※1	ソルフェージュ※1	創作	器楽※1	総合※1	英語表現
1 年次	4	3	4	3	1	1	1.5	3	1	1	4	1	1	1	1	1	1	1	1
2 年次	4	3	3	4	1	1	3	1	1	4	1	1	1	1	1	1	1	1	1
3 年次	3	4	4	4	1	1	3	0.5	0.5	4	1	1	1	1	1	1	1	1	2

演奏・創作コース
 総合表現コース
 ※1 総合的な学習の時間
 ※2 美術1.5のうち0.5単位は校外学習や芸術鑑賞等に充てています。

(2) 時間割例

< 1 年 >

曜日	月	火	水	木	金
1	理科	理科	選択体育	国語	体育
2	体育	音楽	家庭	美術 総合	理科
3	技術	ソルフェージュ・創作 器楽	社会	ソルフェージュ 英語表現	書写
4	社会	数学	数学	レッスン 美術	道徳
5	英語	英語	英語	数学	合唱
6	数学	国語	国語	社会	英語
7			H R		

演奏・創作コースのみの授業
 火曜のソルフェージュは習熟度授業
 総合表現コースのみの授業

- ・ 1 年生の国語のうち 1 時間は書写です。
- ・ 体育のうち 1 時間は選択体育 (中学受験生はリトミック、内部進学生は新体操または陸上・テニス) です。
- ・ 道徳教育の一環として「礼法」を実践的に学習する時間を設けています。

< 2 年 >

曜日	月	火	水	木	金
1	技術	国語	英語	数学	国語
2	理科	社会	音楽 保健	国語	体育
3	数学	家庭	レッスン 音楽	英語	創作 器楽
4	英語	数学	保健 英語表現	道徳	ソルフェージュ 総合
5	社会	体育	国語	理科	英語
6	美術	理科	理科	社会	音楽 (合唱)
7			HR		

< 3 年 >

曜日	月	火	水	木	金
1	社会	数学	英語	社会	数学
2	創作 英語表現	国語	数学	英語	国語
3	音楽 音楽	道徳	社会	理科	体育
4	レッスン 総合	体育	理科	国語	音楽 (合唱)
5	理科	理科	ソルフェージュ 器楽	保健	社会
6	家庭	英語	校内演奏会 総合	美術	英語
7	数学		HR	合奏	

演奏・創作コースのみの授業
金曜のソルフェージュは習熟度授業

総合表現コースのみの授業

- ・ 3 年生の合奏は高等学校音楽科との合同授業です。
管・弦・打楽器を主楽器として専攻している生徒のみ参加します。
- ・ 3 年生は前期が家庭で後期は技術になります。

4. 演奏・創作コースの特徴

演奏・創作コースは、音楽にあふれた音中の環境で、基礎学力を身につけながら、専門的な知識と技術を学びます。専門的に音楽を学ぶ中で、豊かな人間性を育み、将来音楽文化の発展に貢献できる人材を育てます。

演奏・創作コースの授業の特長のひとつである週に 1 回行われるレッスンでは、基礎的なことを大切に、一人ひとりの能力、個性、資質などに沿ってきめ細やかに指導しています。レッスンを受けることによって、技術の習得のみならず、表現力や創造力をはじめ、計画性、問題解決能力、継続力など様々な力が身につきます。またソルフェージュの習熟度別授業や、ピアノグレード制は多様なレベルに柔軟に対応できるシステムであり、生徒一人ひとりが充実して取り組める内容になっています。

本コースでは年に 2 回の実技試験を実施しており、実技試験を通して色々な時代やスタイルの作品を 3 年間で学び、個々のレベルアップをより一層目指します。実技試験の成績優秀者は、様々な演奏会に出演する機会を得ることができます。

ソルフェージュ

ソルフェージュの授業は、演奏の礎となる基礎訓練が中心です。中でも、「聴音」(演奏された音の聴き取りと書き取りを同時に行う訓練)や「視唱」(与えられた楽譜を正しく歌って表現する訓練)がよく知られていますが、「読譜から演奏に至るまでに必要な様々な技術」すべてがソルフェージュなのです。

中学生のうち、基本的なことが中心となりますが、少しずつ高度なソルフェージュ力を身につけることも早い時期から行います。「ただ正確に書き取る」だけ、「ただ正確な音程で歌う」だけ、では、その先の演奏につながりません。自らが「どう表現するか」を常に考えることが大切で、それを一人でできる力が備わるように授業が進められていきます。文章にすると、難しそうに聞こえてしまいがちですが、今までみなさんが行ってきたこと(譜読みをして演奏する)をさらに専門的に訓練する、と考えてみてください。よく知っている楽曲や、実際に自分が取り組んでいる楽曲を「自分の色に素敵に仕上げる」ために、感性を磨き、楽しみながら一人ひとりが実力をつけていくのです。

音中のソルフェージュの授業は 1 年生後期、2 年生は 2 クラス、3 年生は 3 クラスの習熟度別クラスを設け、それぞれの実力を向上させています。

創作

1年生の後期はソルフェージュの1時間を使って短いメロディーの作曲から始めます。2年生では変奏曲と歌曲、3年生では合唱曲を作詞・作曲します。実際に自分自身の手によって曲を書くことで作曲家の視点を持ち、「楽譜を自分で理解し読む力」と「良い音を聴き分ける力」が身につく、最終的に演奏につなげることを目標としています。また、3年生の優秀創作作品は、作曲した生徒自身による合唱指導・指揮のもと、卒業演奏会（後述 P9・音大講堂）で全校生徒による合唱で発表します。

レッスン

レッスンは他の学校ではなかなか見られない、音中の特徴的なカリキュラムです。第一線で活躍する約 60 名の教員が、中学の3年間、そして高校音楽科に進学すると6年間、学びのパートナーとなります。

週1回のレッスンでは、一人ひとりの資質や能力に合わせたきめ細やかな指導を行い、個性や得意分野を伸ばしています。

レッスンで培われる力は様々で、日常的にコツコツと日々練習を重ねる「忍耐力」、次回のレッスンまでにどのような練習をしなければいけないか分析し練習方法を考える「思考力」、そして次回のレッスンまでの課題を仕上げるための「計画力」が訓練され、このことが「マネジメント力」の向上にも役立っています。また学校の取り組みとして、年に数回行う国内外の著名な講師を招いての公開講座は、生徒たちに良い刺激をもたらす、モチベーションを高めます。

その他、演奏する上で必要とされる演奏力・創造力・表現力を身につけるため、他教科との連携も大切にしています。それぞれの時代様式や、和声・作曲技法の解釈はもちろんのこと、作曲家や作品の時代背景を理解するために、歴史、文学などからも、音楽を総合的に学ぶことを目的としています。

トライアル

トライアルは、演奏・創作コースのピアノ、弦楽器で実施しており、複数の実技教員がアドバイスを行うことによって多角的視点からの指導を行うものです。

技術的・音楽的課題の自覚を促し、日頃の練習に活かせることを目的としています。実施内容は、主楽器がピアノの生徒は、スケールとアルペジオの他、個人の技量に合わせた課題（練習曲、バッハの作品）を演奏しアドバイスを受けます。主楽器がピアノ以外の生徒も、副科ピアノとしてピアノでスケールとアルペジオのチェックを受けます。弦楽器ではスケールのチェックを受けます。

スケールやアルペジオでは技術的な向上のみならず、全 24 調を習得することで調性感覚、色彩感覚を養います。バッハの作品では日常的に勉強することで、調性感や和声感の他、構成力、立体感が備わり、演奏をより美しく表情豊かなものにします。そしてこのトライアルは楽典、ソルフェージュ、和声学を学んでいく上においても、重要な基礎となります。

実技試験

年に2回、前期・後期の学期末に実技試験を行います。試験では、各自が試験に向けて取り組んだ課題を演奏します。

「ピアノ」は成長する段階での必要性や学年のカラーに応じてバロック、古典、ロマン、近現代の中から課題を設定し、3年間で様々な時代様式を学びます。またAグレードからLグレードまでの12段階のグレード制を実施しており、個々のレベルや個性に見合った自由曲を学びます。Kグレードは15分以上のプログラム、Lグレードは30分以上のプログラムを実技試験で演奏します。高等学校音楽科3年前期試験を終えた段階で、Kグレード以上の生徒は、国立音楽大学への推薦試験において実技試験が免除されます。このグレード制は個々の実力に合わせて無理なくかつ計画的にレパートリーを広げ、中高の6年間で、様々なレパートリーを構築し将来に備えます。

「弦楽器」はエチュード、バロック、協奏曲などの課題が設定されています。「管楽器・打楽器・オルガン・電子オルガン」の課題は、個々の能力に合ったものを担当教員と相談して決めていきます。「声楽」は発声法を大切にしながら、身体の発達に合わせてコンコーネやイタリア歌曲といった課題に取り組んでいます。

生徒はこの試験のために練習し、努力を重ね、教員の前で演奏する緊張感・達成感を味わいながら、日々過ごします。この経験は、将来社会に出た時に必ず様々な場面で役に立つ力となります。

5. 総合表現コースの特徴

総合表現コースは、音楽が好きで、これから音楽を学び始めたい、音楽が身近にある環境で学びたい生徒のためのコースです。

音楽にあふれた音中の環境で、教養として音楽を身につけながら、知性と豊かな感性を育てていきます。

音大附属だからこそ実現できる音楽の授業では、和楽器やリコーダーなど色々な楽器を用いたアンサンブル演奏、コースの垣根を越えた編成での合唱など、様々な音楽体験を中心に表現力や協調性を磨きます。実際に楽器を手にしたり、幅広い分野の音楽を鑑賞したり、多様な学習活動を通じて、例えば、イメージを具体的に伝える力や分析力など音楽的な見方や考え方を身につけ、生活や社会の中で必要とされる発信力や論理的思考力などを育てます。そして生涯にわたって音楽を愛好する心情や豊かな情操を養います。

また、グローバル化が進む今日、英語で表現することを重視し、ライティングやスピーキングに力を入れた授業を展開し、コミュニケーション力の向上を目指します。

「総合」の授業では、個人やグループでの発表の機会を多く設け、言葉や音楽などで表現する体験を通して、これからの社会で求められる思考力や発進力、課題解決力などを磨いていきます。

音楽・器楽

「音楽を学び、音楽に学ぶ」

様々な音楽や楽器に触れることによって音楽活動の楽しさを体験し、音楽を愛好する豊かな心を育て、感性を養うことを目標としています。音楽にあふれる本校の環境の中、多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、創意工夫して表現する力の育成を目指します。

英語表現

英語を通して、「自分で考えて」「自分の言葉で」表現できるようになることを目標にしています。

「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」などの言語活動を身につけるため、『TAGAKI』を用いたライティングトレーニング、実践的な英語でのやり取り、発表、スピーキング活動などの授業を、ICTを活用しながら展開し、コミュニケーション力の向上を目指します。

また、授業で習得した知識を活かし、場面・状況に応じて自分の考えや気持ちを英語で表現することを目的として、普段の授業に加えオンライン英会話（英検の二次試験対策にもなります）や、校外学習（例 TOKYO GLOBAL GATEWAY）を行い、実際にネイティブの方との交流など体験型英語学習の機会を設けます。

総合

自分はどんなことに興味関心があり、どんな特性があるのかを知ることから始まり、この社会はどんなふうになり立っているのか、社会の中で自分はどんな道に進みたいのかなど、国語や数学などの教科の枠を越えた勉強をしています。そして、自分の考え・想いを人にどのように伝えたら伝わるのかを念頭に言葉での表現を学ぶことに力を入れ、発表活動を様々な形で行っていきます。3年次ではこの国音や社会と自分のつながりをテーマに課題を設定し、広告作品などの制作を目標に1年次より計画的に様々なことを学びます。

1年次のテーマは「自分自身を理解する」。

（例）心情・人柄・性格を表現する言葉で、自分のキャッチコピーを考える。

2年次のテーマは「他者を理解する」。

（例）〇〇さんのキャッチコピーや学校紹介の記事やCMを作る。

3年次のテーマは「自分を取り巻く社会を理解する」。

（例）SDGsの観点から公共広告のようなものを作る。

このような様々な課題に取り組むことにより、論理的思考力や表現力、コミュニケーション力などを育てていきます。

生徒たちは、演奏・創作コースの生徒と同じ学び舎で学校生活を送ることで、それぞれの目標に向かって切磋琢磨し、様々な感性と個性をもつ仲間とつながり関わりあいながら理想の未来へ進む力を身につけていきます。

6. 教育システム

(1) NOLTY スコラ手帳

スコラ手帳は「自ら学び・考え・行動できる人材」となるために必要な能力を育成することを目的として作られたものです。本校の教育理念である「自由・自主・自律」の精神に則り、予定を生徒たち自身で組み立て、それを実行し、振り返りを行います。本校では 2019 年度から導入を始めました。

中学 1 年生は、初めて自分のスケジュール帳を持つ生徒も多いので、メモを取る習慣を身につけさせるため、毎回ホームルームで手帳を使い連絡事項などを記入させています。

生徒たちは表紙にアレンジを加えてオリジナルの手帳を作り大切に使っています。

(2) iPad

2022 年 4 月入学生より学校教育における ICT「Information and Communication Technology: 情報通信技術」を活用した学びを実践するための一環として、生徒一人に一台の iPad 導入を開始しました。勉強する時に教科書や筆記用具が必要なと同様に、iPad も授業など皆さんの学びに欠かせない文房具の一つです。iPad の活用自体が目的ではなく、手段や道具の一つとして生徒たちの学びや創造力を育てていくことを目指しています。

(3) 海外研修・留学

本校では海外研修として希望者を対象に、夏期カナダ短期研修、オーストラリアとニュージーランドへのターム留学（約 3 か月）を実施しています。カナダ研修はキャンプ、英語の授業、様々なアクティビティ等を通じて現地のバディと楽しみながら交流できるプログラムとなっています。一方、ターム留学は異文化交流や英語力のアップを目的とし、約 1 学期間ホームステイをしながら、現地校に通うプログラムです。英語で数学や科学などの授業を受け、現地の生活を体験しながら、英語力を向上させるだけでなく、その国の文化や考え方の違いなどを学びます。また現地校によっては Music Academy を擁する学校もありますので、オーケストラや合唱などを体験することも可能です。このように、ターム留学を通して生徒たちには異文化理解や課題解決力など、グローバル人材になるための素養を身につけてほしいと考えています。

(4) 大学進学および合格実績

① 附属高校音楽科 進学実績 (2022 年度)

国立音楽大学 55 名	他大学 (音楽系) 22 名	専門学校 0 名
演奏・創作学科 声楽専修 12 名 鍵盤楽器専修 (ピアノ) 20 名 弦管打楽器専修 9 名 作曲専修 4 名 コンピュータ音楽専修 3 名 音楽文化教育学科 音楽文化教育専攻 音楽教育専修 3 名 音楽療法専修 1 名 幼児音楽教育専修 3 名	東京藝術大学 2 名 桐朋学園大学 1 名 東京音楽大学 8 名 昭和音楽大学 1 名 洗足学園音楽大学 6 名 玉川大学 1 名 桜美林大学 1 名 ウィーン国立音楽大学 1 名 ネバダ州立大学 (NIC) 東京校 1 名	
	他大学 (一般) 5 名 白梅学園大学 1 名 和光大学 1 名 日本大学 1 名 帝京平成大学 1 名 洗足こども短期大学 1 名	その他 5 名

② 附属高校普通科 特別進学コース 大学合格実績 (2020 年度から 2022 年度)

大学名	年度			学部	学科 専攻
	20	21	22		
早稲田大学		1		教育	英語英文
		2		文化構想	
青山学院大学	1			総合文化政策	総合文化政策
			1	文	史
中央大学	1			理工	経営システム
法政大学	2			総合政策	国際政策文化
		1		文	史
		1		法	
明治大学		1		理工	機械工
	1			文	演劇専攻コース
	1			文	心理社会現代社会
國學院大学		1		文	国際日本
芝浦工業大学		1		工	史
津田塾大学	1			学芸	機械工
東京女子大学		1	1	現代教養	国際関係
	1			現代教養	人文
		1		現代教養	国際社会
日本女子大学		1		家政	国際英語
		1		人間社会	児童
		2	1	文	教育
東京薬科大学	1	1		薬	史
成蹊大学		1		文	薬
	1	1		社会イノベーション	国際文化
		1		文芸	文化史
東洋大学		2		経営	経営
	1			経済	総合政策
		1		社会	社会
	1			法	企業法
	1	1		法	法律
日本大学				ライフデザイン	人間環境デザイン
	1	2		経済	経済
	1			芸術	映画演劇コース
			1	国際関係	国際教養
	1			生産工	マネジメント工
武蔵大学		1		法	公共政策
明治学院大学			1	人文	日本東アジア文化
千葉工業大学			1	経済	経済
		1		社会	社会
東京電機大学	1			工	電気電子工
東京農業大学				社会システム	プロジェクトマネジメント
		1		工	機械工
武蔵野大学			1	理工	理工
	1			生物産業	海洋水産
大妻女子大学			1	農	農
神奈川大学	1			工	建築デザイン
杏林大学	1			社会情報	社会デザイン
昭和女子大学		1		工	情報システム工
玉川大学		1		工	経営工
学習院女子大学	1			保健	診療放射線技術
共立女子大学			2	人間文化	歴史文化
実践女子大学		1		芸術	演劇・舞踊
	1			国際文化交流	国際コミュニケーション
東京工科大学			2	文芸	文芸
明星大学	1			生活科学	生活文化生活心理専攻
		1		文	美学美術史
清泉女子大学	1			応用生物	生命科学・医薬品専攻生命科学コース
帝京大学		1		教育	教育
		1		心理	心理
フェリス学院大学	1			文	日本語日本文学
		1		文	スペイン語スペイン文学
武蔵野美術大学	1			理工	バイオサイエンス
武蔵野美術大学		1		音楽	音楽芸術
		1		国際交流	国際交流
武蔵野美術大学		1		造形構想	クリエイティブイノベーション

卒業人数	13	19	11
------	----	----	----

③総合進学コース

大学名	年度			学部	学科 専攻
	20	21	22		
創路公立大学		1		経済	経済
学習院大学		1		文	英語英米文化
中央大学	1		1	文	人文社会・図書館情報学コース
	4			文	人文社会英語文学文化専攻
			1	法	法律
法政大学			1	通信教育 文	史
			1	法	政治
明治大学			1	法	法律
同志社大学	1			文	英文
國學院大学			1	経済	経営
			1	法	法律
北里大学		1		獣医	動物資源科学
昭和薬科大学			1	薬	薬
東京薬科大学			1	薬	薬
日本獣医生命科学大学			1	獣医	獣医
駒沢大学			1	文	心理
成蹊大学			1	文	日本文
			1	法	法律
成城大学			1	法	法律
専修大学			1	法	政治
東海大学		1		教養	芸術
東洋大学			1	社会	国際社会
			1	福祉社会デザイン	社会福祉
獨協大学		1	1	法	総合政策
		1		法	国際関係法
日本大学	1			芸術	映画監督コース
	1			芸術	音楽声楽コース
武蔵大学			1	社会	メディア社会
			1	人文	日本東アジア文化
明治学院大学			1	社会	社会
順天堂大学		1		国際教養	国際教養
千葉工業大学			1	工	応用化
東京電機大学			1	未来科学	情報メディア
			1	未来科学	情報メディア
武蔵野大学		1		教養	教育
桜美林大学			1	健康福祉	保育
		3	1	リベラルアーツ	
神奈川大学			1	化学生命	応用化
			1	情報	先端情報領域プログラム
杏林大学		1		外国語	英語
			1	総合政策	企業経営
		1		総合政策	総合政策
玉川大学		2		保健	臨床心理
		1	1	芸術	アートデザイン
東京医療保健大学			1	工	ソフトウェアサイエンス
			1	立川看護	看護
神田外語大学	1			外国語	国際コミュニケーション
	1			外国語	英米語
東京工科大学		1		デザイン	デザイン
名古屋学芸大学			1	メディア造形	映像メディア
明星大学		1		教育	教育
		1		情報	情報メディア
		1	1	心理	心理
産業能率大学		1		経済	現代マネージメント
城西国際大学	2			メディア	メディア情報映像芸術
帝京科学大学		1		生命環境	アニマルサイエンス動物看護福祉
帝京大学		1	1	文	史
			1	文	社会
			2	文	日本文化
			1	薬	
帝京平成大学	1			健康メディカル	言語聴覚言語聴覚
	1			ヒューマンケア	看護
東京家政大学		1		人文	心理カウンセリング
東京純心大学	1			看護	看護
目白大学		1		外国語	韓国語
		1		人間	児童教育
聖徳大学		1		教育	児童文化コミュニケーション

大学名	年度			学部	学科 専攻
	20	21	22		
東北工業大学			1	ライフデザイン	生活デザイン
立命館アジア太平洋大学		1		国際経営	
文教大学		1		教育	児童心理教育
立正大学			1	文	史
			1	文	文
和光大学		1		経済経営	経営
テイラーズ大学			1	foundation in arts	
大阪芸術大学		1		芸術	初等芸術教育
洗足学園音楽大学	1			音楽	ミュージカルコース
		2		音楽	音楽・音響デザインコース
			1	音楽	音楽環境創造
			1	音楽	電子オルガンコース
国立音楽大学	2	2		音楽	演奏・創作学科コンピュータ音楽
	1	4	2	音楽	音楽文化教育学科音楽教育専修
	2		1	音楽	音楽文化教育学科幼児音楽教育
	1	1		音楽	演奏・創作学科声楽専修
				音楽	演奏・創作学科弦管打楽器
	2	2		音楽	演奏・創作学科コンピュータ音楽
		1		音楽	演奏・創作学科ピアノ・オルガン
			1	音楽	音楽文化教育学科音楽情報専修

<Pick Up>女子大学

大学名	年度			学部	学科 専攻
	20	21	22		
東京女子大学		1		現代教養	心理コミュニケーション
日本女子大学		1		人間社会	教育
東京女子医科大学		1		看護	看護
昭和女子大学		1		人間文化	歴史文化
		1		人間文化	日本語日本文学
大妻女子大学			1	社会情報	社会生活情報
		1		人間関係	社会・臨床心理学専攻
			1	文	日本文学
		1		文	英文
学習院女子大学			1	文	コミュニケーション
			1	国際文化交流	国際コミュニケーション
跡見学園女子大学		1		マネジメント	マネジメント
共立女子大学		1		文芸	文芸
実践女子大学		1		生活科学	生活環境
			1	文	英文
恵泉女学園大学	1	1		人文	日本語日本文化
十文字女子大学			1	人間生活	食物栄養
白百合女子大学			1	人間総合	児童文化
聖心女子大学			1	現代教養	人間関係
		2		現代教養	英語文化コミュニケーション
清泉女子大学		1		文	日本語日本文学
		1	1	文	英語英文
		1		文	文化史
白梅学園女子大学		1	1	子ども	子ども
		1		子ども	発達臨床
		1		子ども	家族地域支援
東洋英和女学院大学	1		1	国際社会	国際コミュニケーション
		1		人間科学	保育子ども
フェリス学院大学		1		人間科学	人間科学
女子美術大学		1		文	コミュニケーション
女子美術大学		1		美術	メディア表現領域

卒業人数	32	52	49
------	----	----	----

7. 感性と知性を育む教育

(1) 様々な演奏会

感性と知性を育む教育の一環として、本校では多くの演奏会を行っています。練習を重ね、準備を整え、緊張をコントロールして多くの観客の前で演奏することは、生徒の貴重な成長の場となります。自身の意思や主張をどう表現するべきかを、音楽を通して学びます。

また、「合唱」などのアンサンブル活動においては、お互いの演奏を聴き合う、認め合う、時にはぶつかり合うことで、全く新しい発想が生まれたり、一体感や感動を仲間と共有したりします。アンサンブルは「人間力」を養うための協調性、主体性、コミュニケーション能力、創造力、発想力が身につきます。音中では日常の中にアンサンブルが溢れ、それは将来社会に貢献する人材を育てるために役立っています。

新入生歓迎演奏会

学年末の実技試験で優秀な成績を収めた上級生が新1年生を演奏で歓迎します。国立音楽大学講堂大ホールで行われ、ピアノの独奏やアンサンブルの演奏を行います。

くにたち音楽会 (ソロ・アンサンブル、合唱)

本校創立から続いている伝統ある演奏会で、12月に国立音楽大学講堂大ホールで行われます。主楽器の成績が優秀な生徒たちのソロ・アンサンブルの演奏、そしてクラス・学年を越えた混声合唱、様々な編成の合唱を行います。

卒業演奏会 (ソロ)

3年生の成績優秀者が国立音楽大学講堂にて独奏を行います。

卒業演奏会 (創作合唱)

3年生の創作の授業における優秀作品を、作曲した生徒自身による合唱指導・指揮のもと、全校生徒による合唱で発表します。

アンサンブル・ランチコンサート

年間2・3回学内オーディション合格者によるアンサンブル・コンサートを、お昼休みに2号館1階のコミュニケーションラウンジや3号館1階の生徒ホールにて行います。中学生から高校生まで幅広い学年層でアンサンブル作品を演奏します。

(2) 様々な音楽教育

校内演奏会 (演奏・創作コース)

演奏・創作コースに在籍する3年生は、全員がソロプログラムを発表し、それを鑑賞します。ただ演奏を発表するだけでなく、プログラム作成や舞台準備、演出など全ての企画も生徒たちで行い、企画・運営等舞台の裏側についても実践的に学びます。少人数のグループで活動を進め、仲間と協力して一つのを創り上げる授業です。

合唱 (演奏・創作コース、総合表現コース)

主に合唱コンクール(6月・音大講堂)、くにたち音楽会(12月・音大講堂大ホール)、卒業演奏会(3月・音大講堂)、卒業式(3月・本校講堂)、と、それぞれ発表の場へ向けて練習を重ねていきます。基本的な発声法やハーモニーの作り方を習得し、合唱としてのサウンドをつくり上げる中で、仲間とアンサンブルをすることの良さや楽しさについても味わっていきます。また、音楽の中で唯一テキストを持っているものが歌です。歌詞についても研究し、歌詞と音楽との関わりやその適切な表現方法についても実践を重ねながら学んでいきます。

合唱は週に1回各学年合同クラスで学び、全国で活躍する合唱指導者や声楽家が指導します。1・2年生は女声合唱、1・2年の男子は3年生の合唱に加わり混声合唱の作品を「くにたち音楽会」で披露します。

リトミック (演奏・創作コース、総合表現コース)

楽器を演奏したり歌ったりするのではなく「身体表現」という手段を用いて、音楽を視覚的・体感的に学び、感覚や感性を養います。細やかな音楽要素や自身の身体、空間に目を向けることによって、より深く豊かな日常生活や音楽表現に繋げていくことを目指します。

(3) 芸術鑑賞

邦楽

2 年生では、一流の琴の奏者を迎えて実際の演奏を鑑賞し、手ほどきを受けながら、全員が演奏を体験します。独特の奏法や響きの良さを、プロの奏者による「生」の演奏や実際に体験することで味わいます。音楽の授業内においても事前学習の一環として、日本の伝統的な和楽器と関わりのある西洋音楽についても触れ、グローバルな視点から音楽文化や音楽作品についても学びます。

歌舞伎

3 年生では、国立劇場（東京都千代田区）に足を運び、2 年生で学習した三味線が登場する作品でもある歌舞伎を鑑賞します。事前に、授業内で歌舞伎そのものや当日の演目（毎年上演作品は異なります）についての予習を行い、鑑賞当日を迎えます。鑑賞当日にも演目上演の前に役者による鑑賞のポイントレッスンが行われる場合もあり、より充実した学びのもとで「生」の芸術に触れることのできる機会となっています。我が国の伝統的な芸能の良さに気づき、味わうことで、さらに個人の表現の幅が広がることを期待しています。

オーケストラ

2021 年度は全学年で「サントリーホール（東京都港区六本木）&ウィーンフィルハーモニーの青少年プログラム」を鑑賞しました。東京で最初のコンサート専用ホールとして、「世界一美しい響き」をコンセプトに 1986 年に誕生したサントリーホール（出典：suntory.co.jp）に足を運び、世界一流のオーケストラによる「生」の演奏を聴くことのできる貴重な機会です。音楽の最大の良さである「生」を肌で感じることで、机上や言葉だけでは学びきれない舞台に関わる多くのものを吸収し、昨今のハイテクノロジー化が進む社会の中で、改めて「生」である音楽の価値について考える機会としています。

ミュージカル

全学年で「歌・舞踊・演技」の総合舞台芸術であるミュージカルを鑑賞します。演出の凝らされた会場に足を運び、同じく「歌・舞踊・演技（伎）」をもつ総合舞台芸術である日本の伝統芸能、歌舞伎とも比較をしながら、新たな視点やそれぞれの芸術の持つ良さを見つけ、個人の表現活動に繋げるきっかけとなる機会です。

(4) 校外学習・修学旅行（2020、2021 年度は新型コロナウイルスにより中止）

1 年生は 10 月ごろに日帰りの遠足があります。行き先はその年によって変わりますが、2022 年度は上野の西洋美術館と動物園へ行き親交を深めました。

また、宿泊行事として、2 年生では静岡への秋の旅行、3 年生では北海道への修学旅行を実施しています。班別研修や音楽的体験学習を行程に含んでおり、2 年生ではヤマハ掛川工場の見学も行っています。日本の伝統や文化、遺産等を、五感の全てを研ぎ澄ませて感じ、学び、仲間と共に終始過ごす時間は生徒たちにとってかけがえのない時間となるだけでなく、大きく成長することのできる機会でもあります。

*行事は変更することもあります。

8. 学校生活

(1) 携帯電話・スマートフォンに関するルール

本校では、学校内での携帯電話・スマートフォンの使用を禁止しています。学校に入る前に電源を切り、施錠ができる個人ロッカーにて各自で保管するルールになっています。保護者の方から生徒本人へ緊急に連絡がある場合には、学校へご連絡いただくようお願いしています。

(2) ご家庭との連絡

保護者・生徒の皆様へ学校生活の中で緊急を要する事項について、迅速かつ正確に連絡するために緊急時のメール配信を導入しています。1 家庭で 3 件までのメールアドレスを登録することができます。通信にかかわるセキュリティは、世界的に信頼のある、デジサート（旧ベリサイン）の SSL を利用しています。

【緊急時にメール配信する事項】

- ・ 学校行事における雨天中止や延期、時程変更等
- ・ 天災、交通災害、伝染性の疾患等による臨時休校、生徒を学校に留め置く場合等
- ・ 緊急を要する不審者情報
- ・ その他

(3) 学校安全について

生徒たちが安心して学校生活を送るために、本校では安全対策を強化しています。

- ① 警備員を配置して生徒の安全確保に努めています。また、保護者の皆様が校内にいらっしゃる場合には、保護者証の着用をお願いしております。
- ② 校内には AED（自動体外式除細動器）を 6 台設置し、不慮の事故にも備えています。また、教職員を対象に AED 講習・救命救急講習を定期的に行っています。
- ③ 全ての校舎で最新の耐震基準をクリアしています。2 号館は免震構造で、太陽光発電を導入しています。
- ④ 非常時のために、全生徒分の非常食・飲料水・非常用生活用品を備蓄しています。
- ⑤ 大地震などの災害が発生した際には、私立学校の被災状況や生徒の安否情報を、ラジオで放送することになっています。パソコンやスマートフォンでも聴くことができます（ニッポン放送 AM1242/FM93）。
- ⑥ 東京の私立学校間では、登下校時の緊急避難校ネットワークがあります。登下校の時間帯に震災等が発生し、交通機関がストップして学校や自宅にたどり着けなくなった場合、近くの私立小中高校に避難することができます。水や食料・トイレなどを提供するほか、専用の Web システムを使い、学校間で生徒の所在を伝達し合うことができます。電話がつながりにくい状況でも安心です。
- ⑦ 学校管理下における生徒の怪我や病気に備え、独立行政法人日本スポーツ振興センターと災害共済契約を結んでいます。

(4) 昼食

本校には学食はありませんが、お弁当を持参するほか、登校時に購入したりする生徒もいます。また、事前注文が必要となりますが、お弁当を購入することもできます。お弁当は数種類の中から選ぶことができ、日替わりのお弁当もあります。注文したお弁当は、昼休みに 3 号館 1 階生徒ホールで受け取ることができます。数に限りはありますが、当日現金でお弁当等を購入することもできます。また、2 号館 1 階にはおにぎりやパンなどの軽食の自動販売機もあります。

(5) クラブ活動

クラブ活動への入部は強制ではありません。生徒の個性に応じた活動を通じて自主的精神を養い、学校生活の充実向上をはかることを目的として行っています。

文化系：合唱部・ブラスバンド部・軽音楽部・家庭科部・イラスト研究部・伝統文化部

運動系：テニス部・フットサル部・バドミントン部・glee&ダンス部

(6) カウンセラー

本校には、臨床心理士・公認心理師の資格を持つ専任のスクールカウンセラーがおり、平日は毎日相談できる相談体制を整えています。生徒・保護者の方のご相談のみならず、教員と連携しながら、問題が深刻化する前の予防的対応にも力を入れています。音楽を土台とした豊かな心の醸成に貢献できるよう、自他の感情を深く理解し、共感性や表現力を高め、周囲との調和（アンサンブル）を実現できるよう、カウンセリング活動を行っています。

9. アフタースクール (ジュニア ミュージック・アトリエ)

コースや専攻を変えて引き続き本校・本学で学ぶことを希望する中学校・高校音楽科生徒、および実技レッスンを希望する高校普通科の生徒を対象に、課外でレッスンを行う制度です。指導には本校レッスン教員、経験豊富な本校推薦講師があたり、個々の生徒の特質や希望にそって良質なレッスンを実施します。

<対象>

中学

- ・ 総合表現コースの生徒で、演奏・創作コースへの変更を希望する生徒
- ・ 演奏・創作コースの生徒で、主楽器の変更を希望する生徒

高校普通科

- ・ 主に国立音楽大学への進学を希望する生徒

高校音楽科

- ・ 総合音楽コースの生徒で、演奏・創作コースへの変更を希望する生徒
- ・ 演奏・創作コースの生徒で、専攻の変更を希望する生徒

<指導スタッフ>

- ・ 本校レッスン教員または本校が推薦する講師

<附属中学生徒への内容>

- ・ ピアノ、声楽、弦楽器、管楽器、作曲/ 他
- ・ 50 分の個人レッスンで、月 3 回程度 (年間 30 回)
- ・ 平日放課後または土曜日に実施

<料金>

- ・ 月額 ¥11,000 (年額 ¥132,000)